

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援ぼっとまむ		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数) 27人
○従業員評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 10月 31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広めの訓練室を活用し、雨天や室内であっても、しっかり身体を動かせるスペースや活動を提案できている。	・活動プログラムを毎月細かく立案し、お子様が毎回楽しみながら活動に向き合えるよう配慮している。 ・放課後という事で、学校での様々なストレスを、できる限り発散できるよう工夫している。	お子様一人一人の課題を踏まえた活動の提案や、必要に応じてグループ分けを行うなど、環境整備を意識する。
2	お子様一人一人の個性を大切にしながらも、集団療育の中で、他者理解を深められるような支援を提供している。	お子様同士が自分達で話し合って答えを導き出したり、相手の気持ちを考えたりできる時間を確保し、アドバイスや促しを行いながら、他者理解につなげている。	自分で考えたり、集団で話し合ったりできる活動を工夫していきたい。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	お子様の発達に伴い、より専門的な知識を持った職員の確保や、今の職員のスキルアップが必要。	・専門的な研修の機会が少ない。 ・経験豊富な職員が、日々の支援に追われてしまい、パート・アルバイト職員に対しての指導の機会が持てていない。	・より多くの職員が専門的な知識を習得できる機会を作りたい。 ・知識を持った職員の確保や、現状での職員間での技術講習の機会の確保を行っていく。
2	出勤日数が少ない職員も多いため、情報の共有が取りにくく、お子様に対する支援の周知に時間がかかってしまう。	パート・アルバイトの職員が支援時間のみ、といった短時間勤務が多く、現場の直接支援のみで終わってしまう。	パート・アルバイトも含め、全員が一緒に話し合える時間の確保を行っていく。
3			